

—若手、中堅社員連絡会議 議事録—

2025年度【第1回】

2025年6月23日(月)

建築本部工務部

記録者：

田中、藤安

(内容)

【日時】	2025年6月23日(月)		10時00分	～
【場所】	WEB			
【出席者】 敬称略	本社(工事)	本社(工務)	現場	
	第一工事部 □鎌田 第二工事部 □飯塚 千葉工事部 □篠原	工務部 □中島(一) □田中 □藤安	第一工事部 □日暮 □伊藤(紘) □島田 □溜井 □高山 □渡邊(謙) □西川 第二工事部 □佐藤(翔) □細谷 □荒井 OLC □榎本 千葉工事部 □大川	
説明	【議事】			
中島(一)	1 当社の経営状況 年度予算説明、経営目標説明、その他			
田中(栄)	2 安全の取組状況 今年度発生した事故報告(5件) 事故を減らす取り組みを続けている中で、更に事故が増加している。 安全に関する知識、関心不足や、他業務の多忙により安全が疎かにされている傾向が観られる。 ・若手、中堅社員の安全教育として ①.脚立、立ち馬の使用に関する安全のポイントを各自確認してください。 ②.ローリングタワーの使用に関する安全のポイントを各自確認してください。 ・若手、中堅社員の安全取り組みとして ①.現場事故を抑制する為に行うべき対応策等を各自皆さんの意見を発表してください。 (一人最低一つ意見を述べてください) 参加者より 日暮: ①朝、業者で行わせているKYK時、京成建設社員が介入し特に注意すべきことを周知 ②危険作業に対するルールを明確化し、現場巡回時、作業のショートカットなど危険作業を発見した場合は作業員にイエローカードの発行と記録。イエローカード2回で事業者へ注意喚起、3回目にはレッドカードとし、作業現場への入場禁止とするようなルールを検討中。 ③安全大会にて月1回、優良な作業員の表彰を行いモチベーションを上げさせる取り組み。 ④リース会社等、プロを講師として招き、機械・器具の使用方法を作業員に実際に見せて教える。 伊藤: ①現場で脚立の使用ルールを作成したうえで脚立の使用届を提出させる。 ②新規入場者教育の際に脚立・高所作業についての内容を加える(動画へ加えてほしい) 島田: ①KY活動や新規入場者教育・昼礼の際に社員から改めて危険な作業についての説明と注意喚起を行う。 ②防災協だけでなく協力会社自主パトロールを増やし、自社の職人に安全に関する注意喚起や情報共有を行ってもらう。 ③熱中症対策として経口補水液や製氷機・塩飴の他に、ゼネコンが開発した塩ゼリーという商品の取入れなど、熱中症対策を強化すべきと感じている。 溜井: ①使用届を提出させる(JV先では脚立の使用届には所長が押印、6尺以上の脚立の使用を禁止していた) ②熱中症対策の強化を行うべきと感じており、基準値を超えた場合にアラーム(警報)がなる機械を導入中。 ③脚立についてはルールも必要だが、職員が正確な知識を持って使用者とコミュニケーションを取っている。			



説明	【議 事】
	<p>大川： 若手現場管理者の視野拡大と心理的成長を目的に、守破離や論語、NLPなどに触れる研修と、完成物件・過去施工現場の見学会を組み合わせた研修や、書類業務の必要性(法令遵守、会計処理、リスク回避など)を理解するための説明会実施の検討を提案。</p> <p>アプリや機器(iPhone等)の導入・変更、新ツールの実用例の公開、リフレッシュ休暇やディズニー優待、つながらない権利(休みのときに着信が無い)などの他社が行っている制度の導入の検討を提案。</p> <p>荒井： ipadのアプリビューワー利用時、OneDrive(有償)に保存されたデータの閲覧時に不具合が出るとの情報がある AutoCAD作成データをIJ CADで開く際、印刷スタイル設定等一部引き継がれない情報がある(再設定が必要)</p> <p>榎本： 最新技術を駆使したまたは伝統技術の建造物を見に行く研修を導入希望。</p> <p>細谷： セーフティー(現場カメラ)の導入を増やす。若手・中堅社員の交流会の開催。</p>
	<p><b>4 今年度の先進技術情報について</b></p> <p>①.8月からAutoCadライセンス契約を打ち切り、IJCadへ建築本部全部署的に移行します。 100%AutoCadとの機能互換の為、ライセンス契約費用削減と、手続き業務の一元化の為に統一します。</p> <p>②.今後試験運用を経てe野帳の導入を検討します。興味のある人は試験導入にエントリーしてください。</p> <p>③.社給PC、スマホ、Padを最大限活用するためにMicrosoftTeamsの活用を広めていく予定です。 まずは皆さんの世代から普及させ、上司、部下に広めて下さい。</p>
	<p><b>5 その他</b></p>

② 若手、中堅社員の安全取り組みとして  
現場事故を抑制する為に行うべき対応策等を各自皆さんの意見を発表してください。

島田さん提案資料

- ・ ゼネコンが開発した塩ゼリー  
<https://38sgc.stores.jp/>

高山さん提案資料

- ・ 事故の体験が可能なVR  
<https://www.tukusi.co.jp/column/theme03/column01.php>

大川さんの提案資料

- ・ コンスタワー  
<https://www.k-nakao.co.jp/archives/products/847/>
- ・ DBSライトステップ  
<https://www.hasegawa-kogyo.co.jp/product/DBS>
- ・ ライトステップ  
<https://www.act-1.co.jp/item/rs/>

荒井さん

- ・ 脚立の使用についての看板データ  
<https://keisei-const.box.com/s/q34oubm078wmpdr22f6ywopd3dzts2xy>

③ 若手、中堅社員発信の情報共有について

伊藤さん、渡邊さんのご要望YOMELIについて

建築ポータルサイトの現場管理→ICT関連に掲載しております。

<https://portal.kc-archit.jp/genba/ict/711.html>

※月額料金が少し高めですので、所長ともご相談いただけましたら幸いです。

本格的に導入を検討されるようでしたら2週間のトライアル期間を申し込めるよう  
連絡させていただきますので工務へご依頼ください。